

となみ散居村学習講座「交通まちづくり公開講座」

少子高齢化・人口減少社会の 地域を持続可能にする交通を考える

地域の持続可能性を考えるうえで、クルマに頼れない高校生の通学、高齢者の買い物・通院などの移動手段確保が不可欠です。少子高齢化が急速に進む中、公共交通がぜい弱な散居村地域では特に重要な課題です。

長年にわたりバスを中心に交通問題を取材するジャーナリストのお話を聞き、受講者の皆さんとともに現状の問題点やあるべき姿を話し合います。



日時 **11月27日** (土)14:00~16:45
となみ散居村ミュージアム



講演 「社会変化に対応したこれからの地域交通をみんなで考える」

講師 鈴木文彦氏(交通ジャーナリスト)

略歴: 1956年山梨県生まれ。東北大学理学部を経て東京学芸大学大学院(地理学)在学中に月刊『鉄道ジャーナル』への執筆を始め、そのまま交通ジャーナリストとしてバス、地方鉄道を中心とした公共交通の取材・執筆活動を続けて約37年。2000年代に入るところから全国各地の自治体の交通政策や交通事業者のアドバイザー、協議会等委員を歴任するほか、利用促進イベント等のコーディネートも行う。主な著書に『日本のバス~100余年のあゆみとこれから』『東日本大震災と公共交通』『路線バスの現在・未来』『JRバスのすべて』など。バスの実車を保存し後世に伝える「日本バス文化保存振興委員会」理事長。



ワークショップ 「クルマだけに頼らない暮らしを考える」

アドバイザー 鈴木文彦氏、本田豊氏(富山大学教授)



申し込み フォーム、または、呉西地区交通まちづくり市民会議ホームページから(ライブ配信も行います) → → → →



定員 50人(先着順。ライブ配信は定員なし)



主催 となみ野田園空間博物館推進協議会

共催 呉西地区交通まちづくり市民会議 (<https://koutsukaigi.tonamino.info/>)

お問い合わせ tel:090-6273-3195 mail:info.koutsukaigi@tonamino.info

(となみ散居村ミュージアム 富山県砺波市太郎丸80 tel:0763-34-7180)